

静岡県月例経済報告

(令和2年12月号)

……令和2年10月を中心とした県内経済のすがた……

No. 536

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	5
・需要面	5
・生産面	13
・雇用面	15
・その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年10月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和2年10月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、経済活動の再開が進むにつれて、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による影響に、より一層注視する必要がある。

雇用情勢は、厳しい状況にある。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、減少している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、持ち直しつつある。

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(10月)は、百貨店が13か月ぶり、スーパーが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(10月)は、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターがいずれも2か月ぶり、コンビニエンスストアが8か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(10月)は、乗用車、軽自動車がいずれも13か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総数でも13か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(10月)は、持家が7か月連続、貸家、分譲住宅がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(10月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、減少している」

日銀短観(12月調査)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業でも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(10月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、持ち直している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（10月）は、原動機、自動車の部分品がいずれも9か月連続、二輪自動車類が10か月連続で前年実績を下回ったものの、エアコンが14か月ぶり、自動車が5か月連続、科学光学機器が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（10月）は、魚介類及び同調製品、木材、パルプがいずれも4か月連続、紙類及び同製品が7か月連続、自動車の部分品が19か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも18か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,004億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しつつある」

鉱工業生産指数（10月）は、電気機械、輸送機械がいずれも2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が12か月連続、化学が9か月連続、パルプ・紙・紙加工品が15か月連続、食料品・たばこが2か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも17か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は5か月連続で上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（10月）は、総合では3か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、厳しい状況にある」

有効求人倍率（10月）は0.93倍で、前月を0.03ポイント上回った。また、2か月連続で0.9倍台となった。なお、19か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（10月）は、14か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（9月）は、20か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（10月）は、前年同月比 7.7%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（10月）は、前年同月比 228.0%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（11月）は、件数は16件（前年同月比 30.4%減）、負債総額は16億5,700万円（同 42.9%減）と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス> 「静岡県IoT推進ラボ」リニューアルオープン

工業技術研究所に開設した「静岡県IoT推進ラボ」は、最新のIoT機器を展示する「展示体験室」とセミナーや実習を行う「IoT研修室」を備え、県内企業へのIoT導入を支援しています。

このたび、民間企業9社の協力を得て展示機器を更新し、令和2年11月25日（水）にリニューアルオープンいたしました。

【展示体験室】

製造現場をイメージできる産業機械やIoT関連機器を接続して、「稼働状況の見える化」、「生産工程の省力化」、「予知保全」、「遠隔監視・制御」など製造現場で役立つ仕組みをわかりやすく展示し、中小企業者が気軽に体験できる場を提供しています。

見学は随時受け付けておりますので、お問い合わせの電話番号までご連絡下さい。

●展示企業・展示内容

展示企業	展示内容
株式会社エッチ・ケー・エス	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策用の消毒液や入退室の自動管理システム ・IoT通信対応ドライブレコーダー
株式会社特電	<ul style="list-style-type: none"> ・RF-ID（非接触自動認識技術）を用いた生産管理システム
株式会社朋電舎	<ul style="list-style-type: none"> ・専用制御装置を用いた多種多様な機器対応の生産管理システム ・小水力発電の遠隔監視システム
碌々産業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・工作機械のリアルタイム遠隔監視システム
株式会社アイエイアイ	<ul style="list-style-type: none"> ・電動サーボアクチュエータ及び制御システム
協立電機株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・パトライトを用いた生産機器稼働状況の可視化
株式会社新冷熱技研	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍、冷蔵庫の遠隔監視システム及び独自サーバー
東朋テクノロジー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・数kmレベルの無線通信機器および産業用電力線通信機器
ナルテック株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・省電力広域無線を用いたセンサデータの通信システム



リニューアルした展示室

【IoT研修室】

IoT初心者向けセミナーや技術者向けのIoT実機を用いた実習など、中小企業へのIoT普及のための様々なセミナーや実習を開催できる多目的研修室。専用のインターネット回線も完備しています。

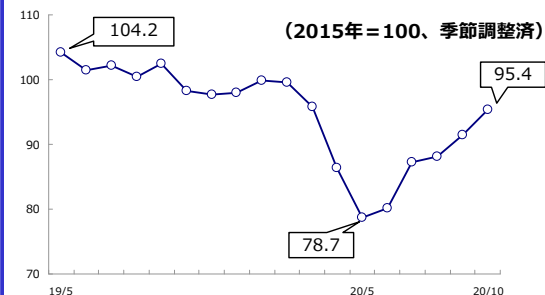
【お問い合わせ】 担 当：静岡県工業技術研究所 機械電子科

T E L : 054-278-3027

<トピックス> 最近の経済・雇用情勢

1 経済情勢

10月鉱工業生産指数（全国）

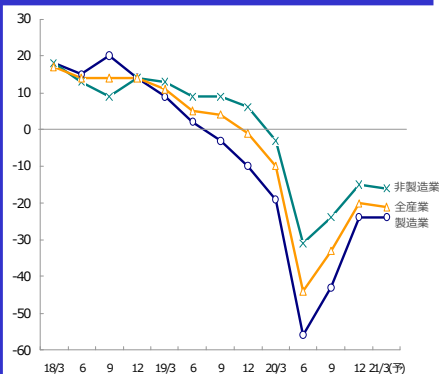


前月比4.0%増加し、95.2。5か月連続の増加。
経産省の基調判断は「生産は持ち直している」と、前月から判断据え置き。

- ・上昇した業種（12業種）
汎用・業務用機械（18.0%）、電気・情報通信機械（8.8%）
石油・石炭製品（7.4%）、自動車（6.8%）、鉄鋼・非鉄金属（5.4%）、生産用機械（3.4%）、金属製品（3.0%）
パルプ・紙・紙加工品（1.0%）、プラスチック製品工業（0.9%）、無機・有機化学（0.8%）等
 - ・低下した業種（3業種）
輸送用機械（自動車除▲9.6%）、電子部品・デバイス工業（▲4.9%）、化学（無機・有機化学除▲0.8%）
- ※いずれも前月比

出展：経産省

12月日銀短観（静岡県内）



主な業種	D I	変化幅
全産業	▲20	↑13
製造業	▲24	↑19
電気機械	▲17	↓8
輸送用機械	▲22	↑19
食料品	10	↑10
紙・パルプ	▲25	↑25
はん用・生産用・業務用機械	▲57	↑8
非製造業	▲15	↑9
運輸・郵便	▲15	↑17
小売	5	↑5
宿泊・飲食サービス	▲50	↑50
情報通信	▲29	↑28

○業況判断DI

- ・全規模計は、前回(9月)から13ポイント改善の▲20（2期連続改善）
規模別 大企業▲5、中小企業▲19
業種別 製造業▲24、非製造業▲15
⇒製造業は9月調査から19ポイント改善。
⇒国内外の需要回復に伴い輸送用機械が改善。
⇒宿泊・飲食サービスは、需要喚起策の影響で改善したものの、依然厳しい状況が続く

※日銀静岡支店長

「最悪期を脱して改善に向かっているが、雇用所得環境の悪化や感染症再流行に伴う経済活動の停滞など下振れリスクも少なくない」

2 雇用情勢

(1) 有効求人倍率

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
全国	有効求人倍率(倍)	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04	1.03	1.04
	完全失業率(%)	2.4	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1
	完全失業者数(万人)	164	166	172	178	197	194	196	205	206	214
本県	有効求人倍率(倍)	1.38	1.27	1.22	1.17	1.06	0.96	0.90	0.88	0.90	0.93
	完全失業率(%)	1~3月 平均 2.0%		4~6月 平均 2.2%			7~9月 平均 2.6%			—	
	完全失業者数(万人)	1~3月 平均 4.0万人		4~6月 平均 4.5万人			7~9月 平均 5.2万人			—	

※完全失業率、完全失業者数は季節調整値 出典：総務省、厚生労働省、静岡労働局

(2) 10月分労働力調査（全国）

区分	実数	摘要
完全失業者数 (完全失業率)	214万人 (3.1%)	対前月比+8万人 (対前月比+0.1ポイント)
就業者数	6,658万人	対前年同月比 ▲94万人
宿泊業・飲食サービス業	410万人	同 ▲43万人
卸売・小売業	1,080万人	同 +8万人
生活関連サービス・娯楽業	246万人	同 ▲7万人
製造業	1,037万人	同 +5万人
休業者	170万人	前年同月比+12万人 前月比▲27万人
非正規の職員・従業員数	2,111万人	対前年同月比 ▲85万人

※完全失業者数、就業者数は季節調整値 出典：総務省

(3) 解雇・雇い止めの状況（解雇等見込み労働者数）

(人)

区分	5/29	6/26	7/31	8/28	9/25	10/30	11/27	12/18
全国	16,723	28,173	41,391	49,467	60,923	69,130	74,055	77,739
非正規	2,366	9,009	16,342	21,412	29,632	33,692	35,612	37,460
本県	421	662	768	842	1,194	1,510	1,662	1,693

出典：厚生労働省、静岡労働局

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

10月 = 35,902百万円

*前年同月比： 6.2%増

(県内3百貨店、150スーパー合計)

<概況>

10月の大型小売店販売額は35,902百万円で、前年同月比 6.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 12.4%増）が13か月ぶり、スーパー（同 5.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、家庭用品（前年同月比 3.3%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 5.2%増）、身の回り品（同 32.9%増）がいずれも13か月ぶり、飲食料品（同 4.3%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は6.1%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額（百万円）	35,437	31,454	34,484	36,061	36,427	37,924	34,892	35,902
前年同月比（%）	▲ 5.9	▲ 11.9	▲ 4.8	▲ 0.5	▲ 0.4	0.8	▲ 10.7	6.2
うち 百貨店（%）	▲ 28.9	▲ 64.2	▲ 50.5	▲ 13.8	▲ 13.5	▲ 14.1	▲ 31.9	12.4
スーパー（%）	0.1	0.3	5.0	2.6	2.7	3.7	▲ 5.4	5.1
（参考1）全国前年同月比（%）	▲ 10.1	▲ 22.1	▲ 16.7	▲ 3.5	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 13.9	2.9
うち 百貨店（%）	▲ 31.9	▲ 71.1	▲ 63.6	▲ 17.3	▲ 18.6	▲ 20.0	▲ 32.1	▲ 0.8
スーパー（%）	1.3	0.9	4.5	3.2	3.0	3.7	▲ 4.7	4.5
（参考2）県前年同月比（店舗数調整前）	▲ 4.9	▲ 8.8	▲ 1.8	0.5	0.9	3.2	▲ 8.4	6.1

（注1）販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

（注2）令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣 料 品	▲ 32.8	▲ 63.8	▲ 41.5	▲ 8.3	▲ 19.8	▲ 17.3	▲ 34.9	5.2
うち 紳士服・洋品	▲ 29.1	▲ 60.8	▲ 32.4	▲ 5.8	▲ 25.9	▲ 27.5	▲ 42.6	▲ 6.8
婦人・子供服・洋品	▲ 34.4	▲ 65.9	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 17.5	▲ 13.9	▲ 31.9	8.0
身の回り品	▲ 27.7	▲ 57.8	▲ 44.0	▲ 4.8	▲ 2.4	▲ 10.3	▲ 29.8	32.9
飲食料品	2.5	2.5	5.8	1.7	3.8	5.3	0.3	4.3
家庭用品	▲ 15.5	▲ 23.9	▲ 13.3	0.7	▲ 9.8	▲ 10.8	▲ 34.5	▲ 3.3
うち家庭用電気機械器具	▲ 25.8	▲ 26.1	▲ 12.3	▲ 7.2	▲ 0.8	▲ 8.4	▲ 39.9	1.2

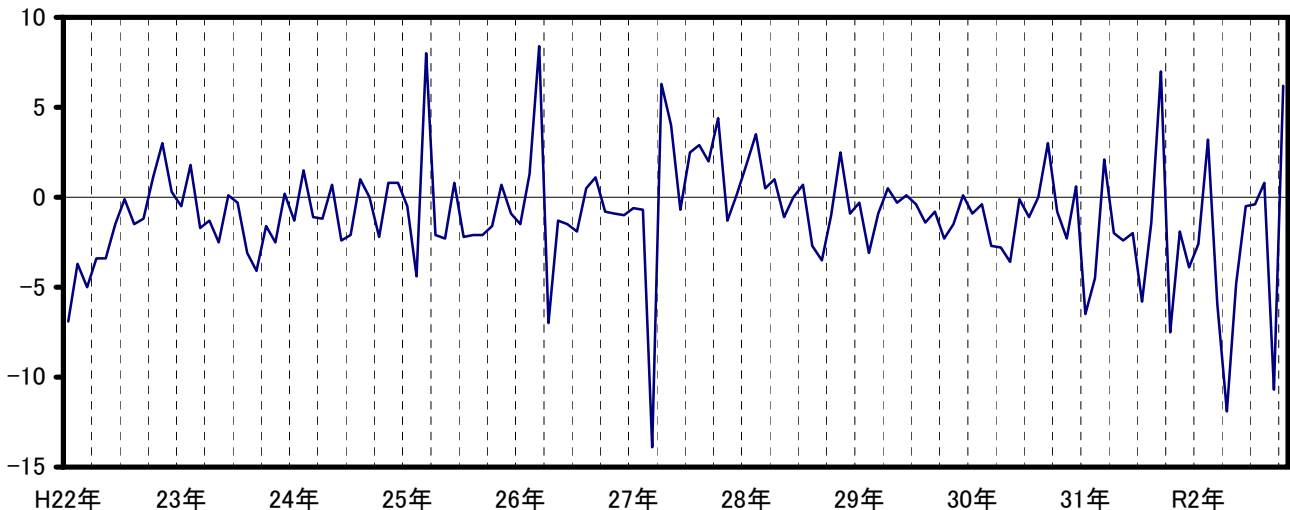
（注）店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

10月 = 72,036百万円

*前年同月比： 9.6%増

(県内89家電大型専門店、1,673コンビニエンスストア、519ドラッグストア、114ホームセンター合計)

<概況>

10月の専門量販店等販売額は72,036百万円で、前年同月比 9.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 30.6%増）、ドラッグストア（同 13.5%増）、ホームセンター（同 7.2%増）がいずれも2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 3.2%増）が8か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
販売額(百万円)	71,656	69,253	72,520	73,680	75,788	80,322	70,675	72,036
前年同月比(%)	▲0.4	0.6	2.7	5.5	2.3	4.7	▲9.6	9.6
うち 家電大型専門店(%)	▲8.0	▲3.7	11.5	25.9	17.0	13.2	▲27.8	30.6
コンビニエンスストア(%)	▲5.5	▲9.3	▲9.0	▲4.6	▲8.3	▲5.5	▲3.0	3.2
ドラッグストア(%)	7.6	11.6	8.9	7.2	7.3	9.6	▲7.6	13.5
ホームセンター(%)	5.1	8.5	18.5	14.7	10.3	19.6	▲12.2	7.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.9	▲2.9	0.2	5.8	1.2	2.9	▲10.6	5.2

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

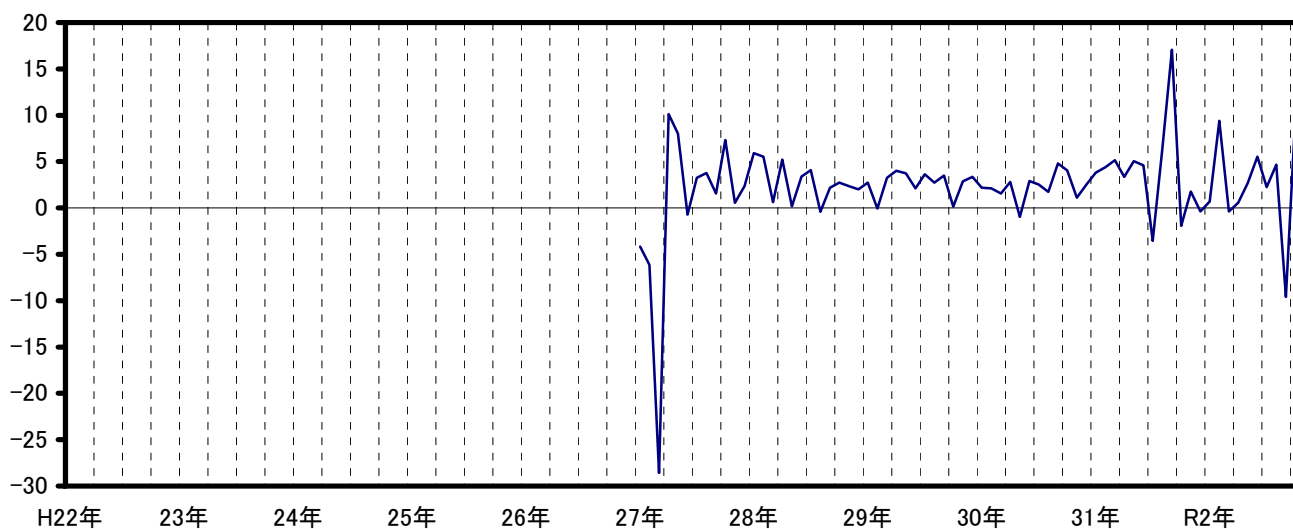
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

10月 = 14,337 台

*前年同月比： 30.8%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

10月の自動車(新車)新規登録台数は14,337台(前年同月比 30.8%増)と、13か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 39.1%増)、軽自動車(同 22.3%増)がいずれも13か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
登録台数(台)	20,352	9,339	7,392	11,764	13,880	11,435	16,554	14,337
前年同月比(%)	▲ 8.1	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 11.6	30.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 8.9	▲ 30.4	▲ 46.7	▲ 22.6	▲ 12.8	▲ 14.8	▲ 14.8	30.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

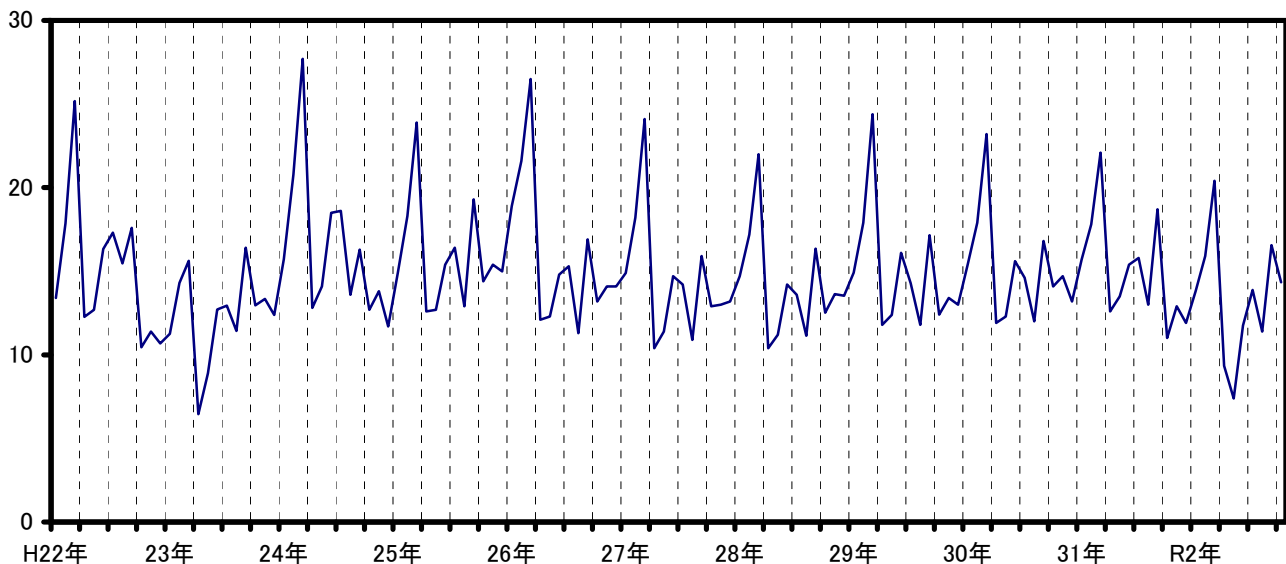
	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
全乗用車	▲ 8.1	▲ 26.0	▲ 45.1	▲ 23.8	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 11.6	30.8
乗用車	▲ 11.4	▲ 25.7	▲ 42.1	▲ 27.5	▲ 18.6	▲ 15.5	▲ 15.5	39.1
軽自動車	▲ 4.0	▲ 26.3	▲ 48.5	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 8.2	▲ 6.8	22.3

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

10月 = 1,661 戸

*前年同月比： 14.9%減

<概況>

10月の新設住宅着工戸数は1,661戸で、前年同月比 14.9%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 10.4%減）が7か月連続、貸家（同 23.8%減）、分譲住宅（同 15.9%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

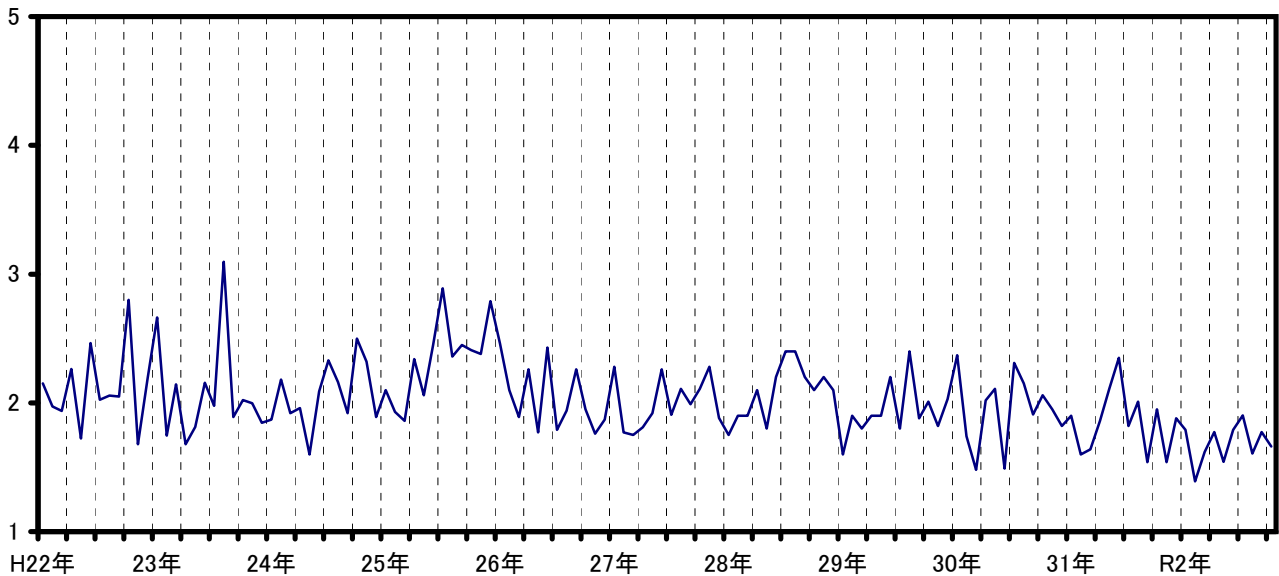
	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
戸数（戸）	1,624	1,774	1,541	1,790	1,902	1,606	1,773	1,661
前年同月比（%）	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 27.0	▲ 23.8	4.4	▲ 20.2	15.4	▲ 14.9
うち持家（%）	5.8	▲ 8.1	▲ 40.1	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 22.7	▲ 1.0	▲ 10.4
貸家（%）	▲ 6.6	15.1	18.2	▲ 39.2	▲ 1.4	▲ 23.5	45.0	▲ 23.8
分譲住宅（%）	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 46.2	▲ 10.9	92.7	▲ 5.2	32.6	▲ 15.9
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 12.3	▲ 12.8	▲ 11.4	▲ 9.1	▲ 9.9	▲ 8.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

10月 = 21,874百万円

*前年同月比： 34.6%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

10月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は21,874百万円で、前年同月比 34.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は784件で、前年同月比 15.8%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
金額(百万円)	21,165	68,572	51,996	61,723	41,226	37,227	53,175	21,874
前年同月比(%)	46.0	▲15.9	59.9	49.8	▲3.0	23.9	▲17.2	▲34.6
年度累計前年同月比(%)	28.3	▲15.9	5.7	17.4	13.0	14.5	7.5	3.2
件数(件)	378	664	494	727	857	782	1,274	784
前年同月比(%)	41.0	18.8	▲13.8	8.5	▲2.7	2.8	18.4	▲15.8
年度累計前年同月比(%)	0.8	18.8	2.3	4.6	2.2	2.3	6.2	2.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

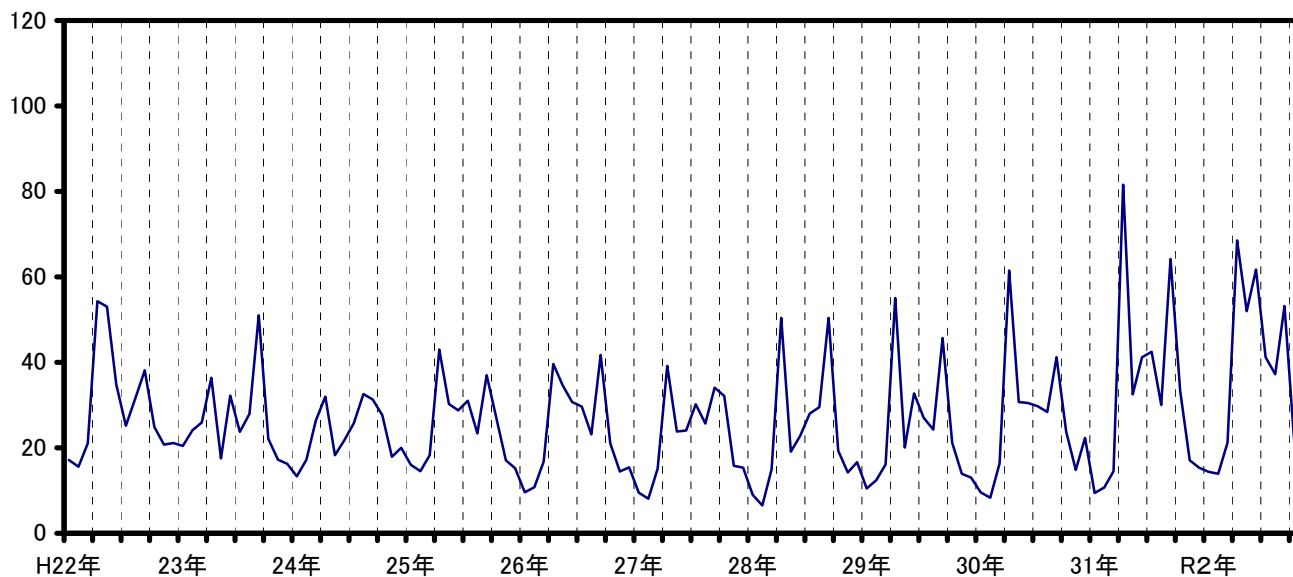
	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国	58.9	▲40.4	56.2	25.7	23.7	23.5	40.6	▲66.9
独立行政法人等	▲86.6	▲61.1	317.0	255.2	255.5	407.7	▲70.7	58.2
県	191.3	64.1	8.8	46.2	▲7.2	39.0	24.6	▲34.2
市町	22.8	7.6	▲19.9	44.8	▲18.2	▲6.7	12.6	▲25.6
地方公社	-	▲85.8	-	-	▲78.4	▲98.6	▲64.9	▲39.6
その他	▲93.0	▲65.2	247.4	▲85.2	▲28.1	▲44.5	▲45.3	▲61.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 3.3%減）、非製造業（同 2.6%減）、全産業（同 2.9%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 0.7%増）で増加、非製造業（同 3.1%減）で減少し、全産業（同 0.4%減）では減少する計画となっている。

10月の着工建築物床面積（非居住用）は102,751㎡で、前年同月比 45.9%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	5.2	(3.2) ▲2.9
	全国	▲0.6	(▲1.3) ▲3.9
製造業	県	9.4	(5.9) ▲3.3
	全国	0.9	(▲2.8) ▲3.1
非製造業	県	1.0	(0.6) ▲2.6
	全国	▲1.5	(▲0.4) ▲4.5

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	1.4	(2.5) ▲0.4
	全国	1.6	(▲2.1) ▲3.0
製造業	県	0.7	(3.4) 0.7
	全国	1.7	(▲2.8) ▲2.6
非製造業	県	3.0	(0.0) ▲3.1
	全国	1.5	(▲1.2) ▲3.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和2年12月調査）」

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	88,664	88,441	114,434	127,714	132,677	100,766	88,933	102,751
前年同月比（%）	15.5	▲35.3	▲23.5	▲21.6	24.5	▲14.8	▲2.5	▲45.9
（参考）全国前年同月比（%）	11.5	▲9.1	▲2.6	▲18.2	▲22.6	▲8.2	7.8	▲7.3

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R2年9月	12月	R3年3月 (予測)
全産業	全産業	▲33	▲20	▲21
	製造業	▲43	▲24	▲24
	非製造業	▲24	▲15	▲16
（参考）全国・全産業		▲28	▲15	▲18

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

5 輸出

10月 = 190,031百万円

*前年同月比： 1.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸出総額は190,031百万円で、前年同月比 1.4%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 14.8%減）、自動車の部分品（同 9.7%減）がいずれも9か月連続、二輪自動車類（同 27.3%減）が10か月連続で前年実績を下回ったものの、エアコン（同 9.6%増）が14か月ぶり、自動車（同 84.0%増）が5か月連続、科学光学機器（同 3.6%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 8.5%減）が2か月ぶり、EU向け（同 0.6%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 7.5%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸出総額(百万円)	181,032	147,563	102,775	125,170	142,582	140,513	216,939	190,031
前年同月比(%)	▲ 10.3	▲ 13.3	▲ 32.6	▲ 29.2	▲ 31.5	▲ 13.5	32.3	1.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
原動機	▲ 14.7	▲ 37.1	▲ 58.9	▲ 51.3	▲ 40.4	▲ 39.4	▲ 20.5	▲ 14.8
エアコン	▲ 20.6	▲ 33.7	▲ 56.7	▲ 36.8	▲ 40.5	▲ 39.3	▲ 8.4	9.6
自動車	15.1	▲ 64.3	▲ 74.5	90.8	102.7	66.6	90.1	84.0
自動車の部分品	▲ 25.8	▲ 16.9	▲ 47.5	▲ 60.0	▲ 49.9	▲ 38.9	▲ 10.9	▲ 9.7
二輪自動車類	▲ 6.5	▲ 25.3	▲ 65.8	▲ 62.6	▲ 41.0	▲ 25.5	▲ 12.8	▲ 27.3
科学光学機器	19.8	7.3	43.3	30.6	▲ 0.7	▲ 4.5	25.3	3.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アジア	▲ 14.2	▲ 1.2	▲ 13.5	▲ 23.4	▲ 18.4	▲ 12.6	16.2	7.5
米国	▲ 10.2	▲ 23.3	▲ 40.5	▲ 51.9	▲ 61.8	▲ 30.4	67.3	▲ 8.5
EU	▲ 11.3	▲ 27.4	▲ 51.3	▲ 8.9	▲ 0.1	3.8	31.9	▲ 0.6

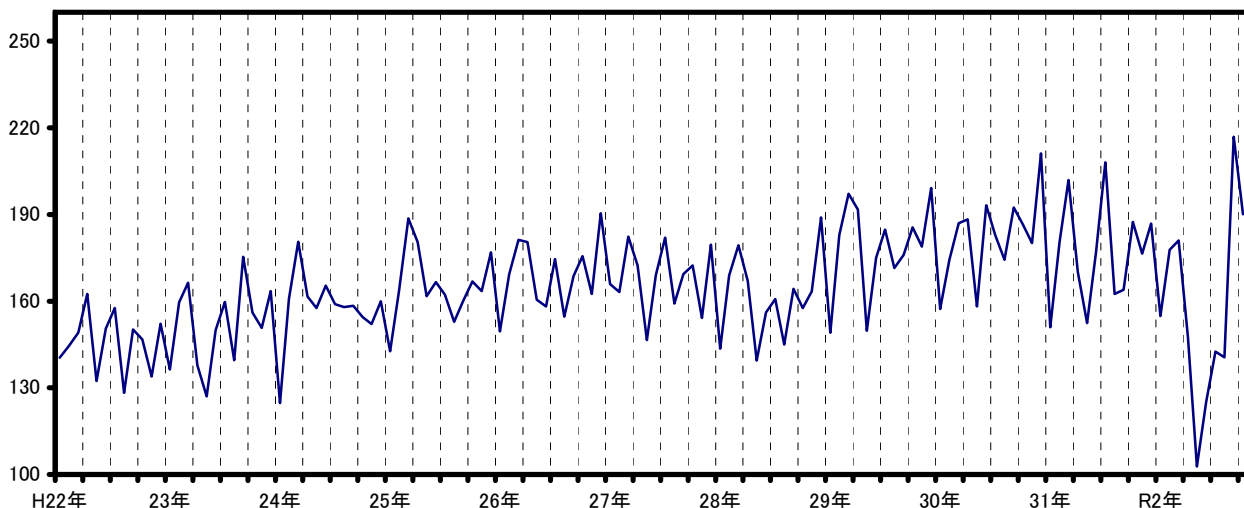
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

10月 = 89,676百万円

*前年同月比： 3.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸入総額は89,676百万円で、前年同月比 3.4%増となり、18か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 3.8%減）、木材（同 11.7%減）、パルプ（同 3.8%減）がいずれも4か月連続、紙類及び同製品（同 10.3%減）が7か月連続、自動車の部分品（同 6.4%減）が19か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 8.9%増）が6か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、EUから（前年同月比 2.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 12.9%増）が7か月ぶり、米国から（同 15.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸入総額(百万円)	89,323	87,630	75,883	74,880	72,097	70,468	72,320	89,676
前年同月比(%)	▲ 1.7	▲ 13.4	▲ 20.9	▲ 14.4	▲ 21.2	▲ 15.4	▲ 13.5	3.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
魚介類及び同調製品	▲ 5.1	▲ 18.6	▲ 21.8	0.6	▲ 27.9	▲ 18.8	▲ 4.0	▲ 3.8
木材	▲ 27.9	▲ 17.4	▲ 43.3	4.7	▲ 27.9	▲ 13.9	▲ 34.5	▲ 11.7
パルプ	▲ 19.7	▲ 27.1	▲ 45.9	4.3	▲ 9.2	▲ 36.1	▲ 29.9	▲ 3.8
紙類及び同製品	8.5	▲ 8.1	▲ 28.0	▲ 1.3	▲ 32.9	▲ 34.9	▲ 22.1	▲ 10.3
原動機	44.1	4.6	▲ 41.5	▲ 34.8	▲ 30.7	▲ 42.0	▲ 11.8	8.9
自動車の部分品	▲ 5.0	▲ 32.0	▲ 63.4	▲ 53.2	▲ 36.4	▲ 26.9	▲ 42.1	▲ 6.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

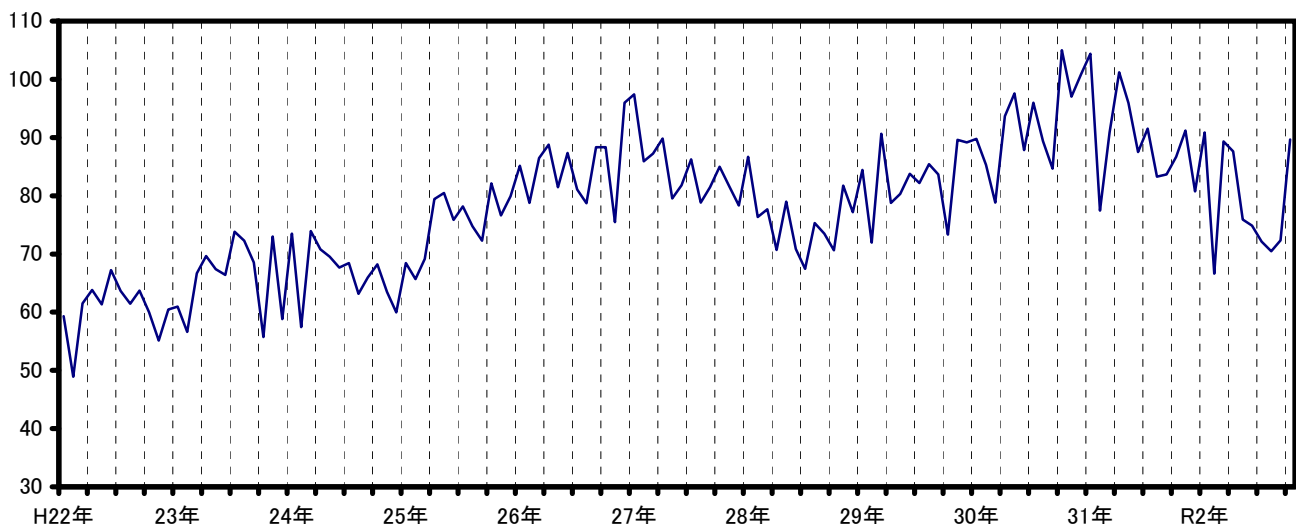
	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
アジア	7.1	▲ 15.2	▲ 29.7	▲ 17.4	▲ 23.5	▲ 8.5	▲ 21.4	12.9
米国	3.1	33.7	36.8	▲ 18.2	▲ 43.0	7.5	▲ 13.0	15.7
EU	▲ 18.3	▲ 18.9	▲ 33.0	34.3	▲ 24.9	▲ 1.4	1.7	▲ 2.5

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

10月 = 94.3

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.2%増

*前年同月比(原指数) : 6.4%減

<概況>

10月の鉱工業生産指数(総合)は94.3(季節調整済指数)で、前月比は0.2%増と、5か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は6.4%減と、17か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、電気機械(前年同月比0.3%増)、輸送機械(同0.2%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同19.4%減)が12か月連続、化学(同16.8%減)が9か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.6%減)が15か月連続、食料品・たばこ(同9.5%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	95.0	75.4	69.6	82.1	88.5	90.1	94.1	94.3
前月比(%)	▲2.5	▲20.6	▲7.7	18.0	7.8	1.8	4.4	0.2
前年同月比(%)	▲5.8	▲26.5	▲34.5	▲14.8	▲12.5	▲10.2	▲3.9	▲6.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.2	▲15.0	▲26.3	▲18.2	▲15.5	▲13.8	▲9.0	▲3.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲10.3	▲31.6	▲30.1	▲18.1	▲33.2	▲26.4	▲23.5	▲19.4
電気機械工業	▲8.1	▲22.5	▲32.7	▲20.3	▲16.0	▲10.0	4.7	0.3
輸送機械工業	▲3.9	▲52.4	▲54.2	▲8.3	▲2.6	▲4.8	4.8	0.2
化学工業	▲1.8	▲7.4	▲11.9	▲5.3	▲10.3	▲16.0	▲5.3	▲16.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.4	▲4.8	▲8.6	▲9.1	▲14.1	▲4.7	▲6.2	▲2.6
食料品・たばこ工業	0.2	▲3.8	▲29.5	▲18.8	▲7.6	0.5	▲4.7	▲9.5

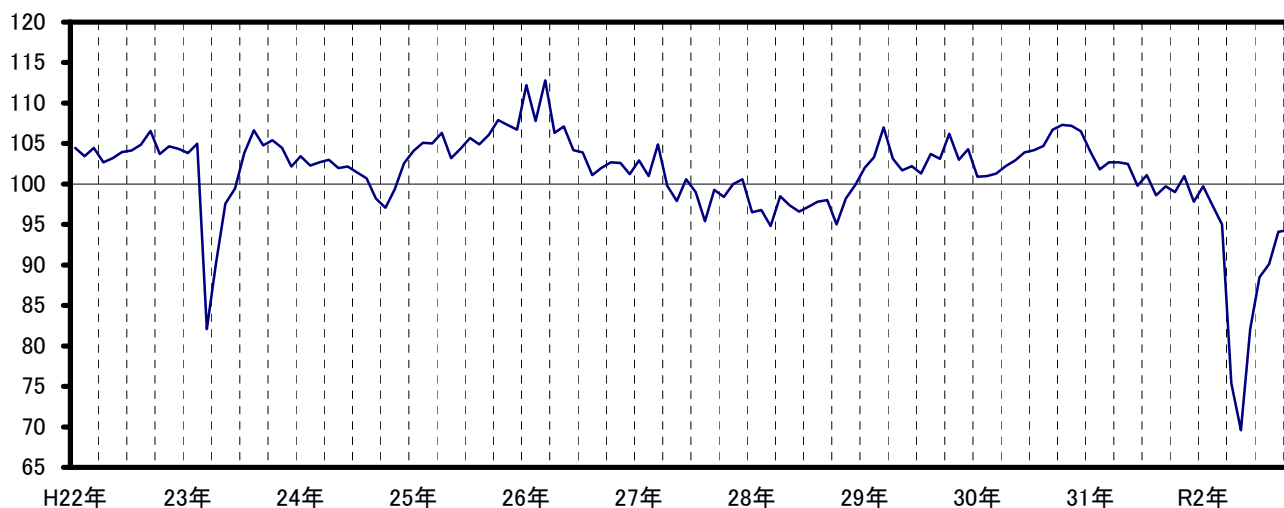
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

10月 = 101.9

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.8%減

*前年同月比(原指数) : 4.6%減

<概況>

10月の鋳工業在庫指数(総合)は101.9(季節調整済指数)で、前月比は2.8%減と、3か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は4.6%減と、3か月連続で前年水準を下回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比5.0%増)が22か月連続、輸送機械(同14.2%増)が6か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同8.7%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同0.5%減)が10か月連続、化学(同16.3%減)、食料品・たばこ(同9.0%減)がいずれも5か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	106.3	108.7	109.0	105.4	107.8	105.9	104.8	101.9
前月比(%)	▲2.1	2.3	0.3	▲3.3	2.3	▲1.8	▲1.0	▲2.8
前年同月比(%)	▲3.5	0.4	3.0	▲1.1	0.5	▲2.7	▲0.8	▲4.6
(参考)全国前年同月比(%)	2.9	2.7	▲0.5	▲3.4	▲4.8	▲5.9	▲5.7	▲8.1

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
はん用・生産用・業務用機械工業	31.3	33.1	0.8	17.0	10.6	9.6	8.1	5.0
電気機械工業	▲9.7	▲8.7	▲4.9	▲0.8	▲12.5	▲13.4	▲5.4	▲0.5
輸送機械工業	▲5.9	▲27.1	10.8	43.3	54.1	21.6	58.7	14.2
化学工業	▲2.0	6.9	21.9	▲2.3	▲1.8	▲6.3	▲6.5	▲16.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲4.7	▲6.5	0.9	2.8	0.0	4.6	10.4	8.7
食料品・たばこ工業	▲1.2	13.6	7.4	▲7.7	▲4.4	▲5.7	▲13.7	▲9.0

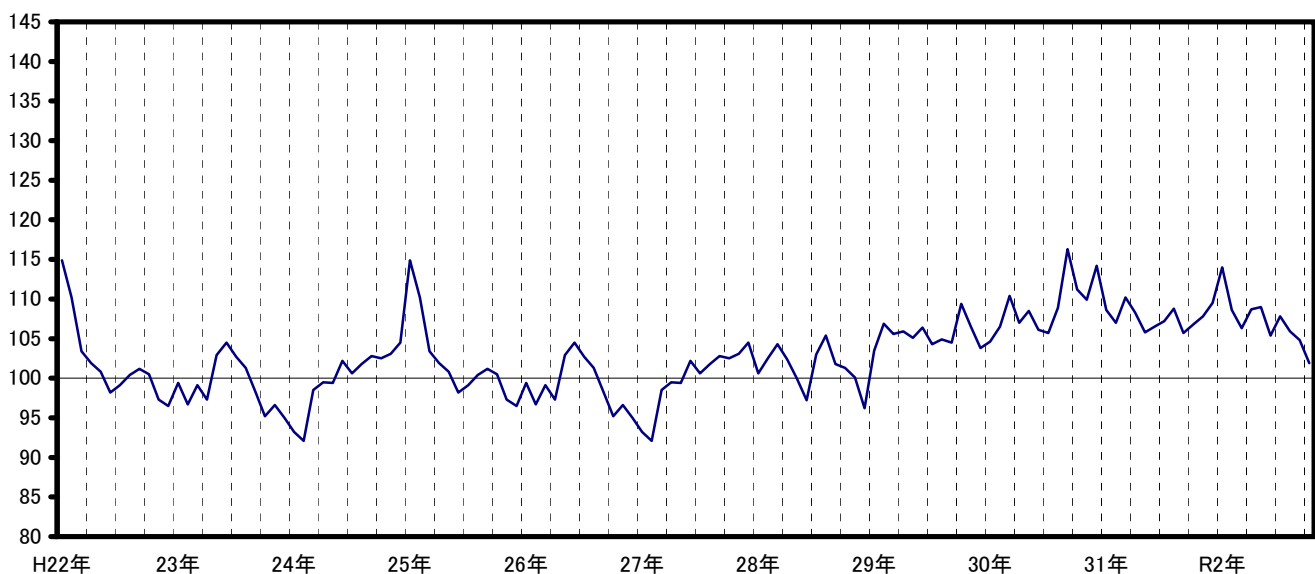
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

10月 = 0.93倍

*前月比（季節調整値）：0.03ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

10月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は0.93倍となり、前月を0.03ポイント上回った。また、19か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 20.0%減）は26か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 10.0%増）が10か月ぶりに前年実績を上回ったものの、製造業（同 35.6%減）が23か月連続、情報通信業（同 20.6%減）が9か月連続、運輸業・郵便業（同 24.5%減）、卸売業・小売業（同 20.6%減）がいずれも10か月連続、医療・福祉（同 6.6%減）が12か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 38.3%減）が18か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
県	1.22	1.17	1.06	0.96	0.90	0.88	0.90	0.93
全 国	1.39	1.32	1.20	1.11	1.08	1.04	1.03	1.04

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建 設 業	▲ 9.1	▲ 9.4	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 0.9	▲ 7.8	▲ 3.6	10.0
製 造 業	▲ 31.2	▲ 38.5	▲ 43.6	▲ 42.5	▲ 48.0	▲ 44.3	▲ 27.7	▲ 35.6
情 報 通 信 業	▲ 53.3	▲ 22.8	▲ 29.6	▲ 28.8	▲ 42.0	▲ 33.8	▲ 28.0	▲ 20.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 9.1	▲ 23.4	▲ 15.8	▲ 25.3	▲ 34.0	▲ 13.5	▲ 42.5	▲ 24.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 12.2	▲ 22.6	▲ 35.7	▲ 31.7	▲ 28.1	▲ 36.7	▲ 24.3	▲ 20.6
医 療 ・ 福 祉	▲ 16.8	▲ 10.7	▲ 27.7	▲ 18.7	▲ 10.8	▲ 26.8	▲ 11.6	▲ 6.6
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 41.1	▲ 51.1	▲ 52.1	▲ 51.1	▲ 53.4	▲ 47.1	▲ 31.0	▲ 38.3
合 計	▲ 18.9	▲ 30.1	▲ 32.9	▲ 29.1	▲ 32.7	▲ 31.5	▲ 22.0	▲ 20.0

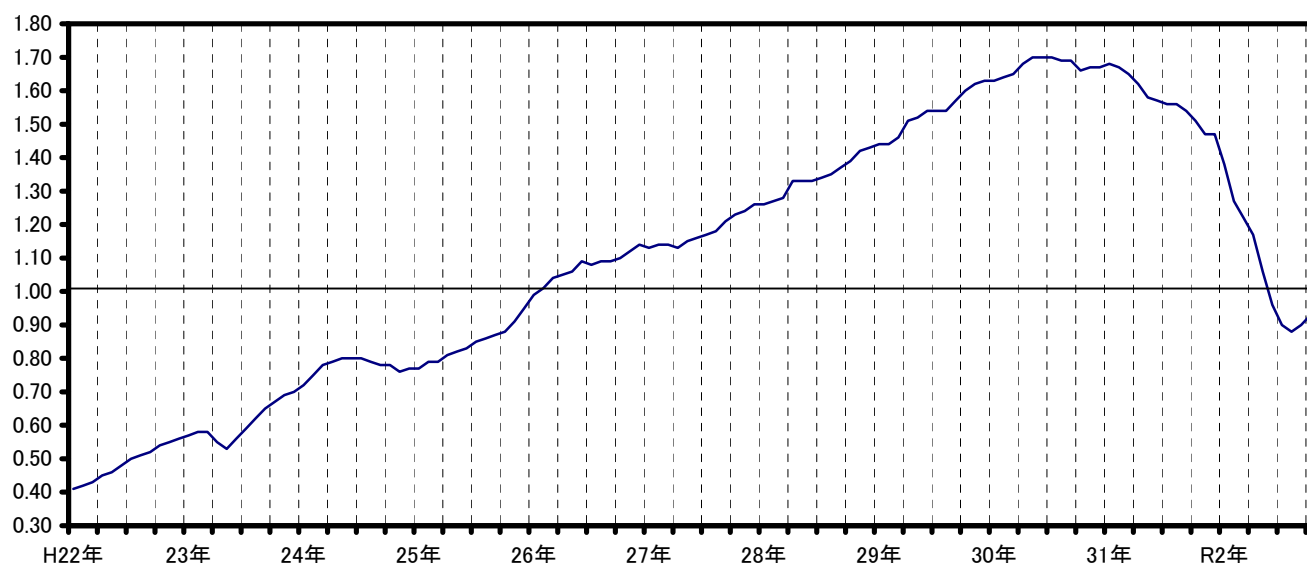
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

10月 = 15,937人

*前月比: 4.5%減

*前年同月比: 38.0%増

<概況>

10月の雇用保険受給者実人員は15,937人で、前月比は4.5%減と、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は38.0%増と14か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は3.1%と前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県(令和2年7~9月)の完全失業率は2.6%で、前期(令和2年4~6月)から0.4ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実人員(人)	10,192	9,880	11,648	14,183	16,199	16,852	16,694	15,937
前月比(%)	0.5	▲3.1	17.9	21.8	14.2	4.0	▲0.9	▲4.5
前年同月比(%)	7.7	1.6	8.0	33.3	41.8	48.3	44.8	38.0
(参考)全国前年同月比(%)	6.7	1.0	3.0	25.8	27.6	33.2	35.8	32.2

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.6	2.9	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1

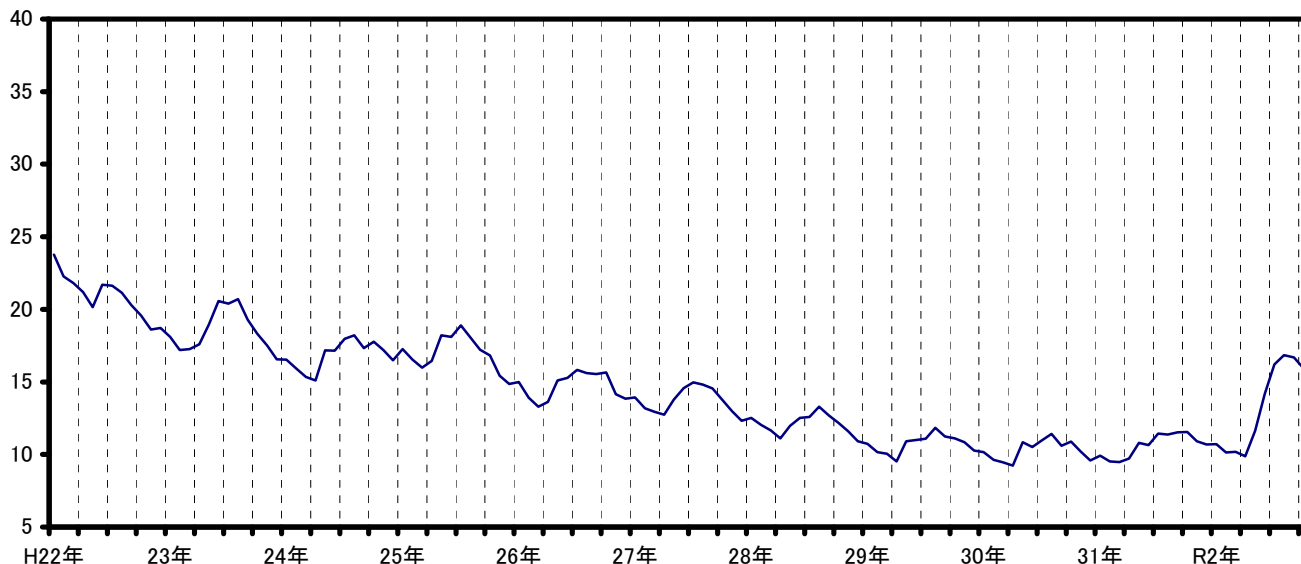
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

9月 = 72.8

*前月比(季節調整済指数): 3.0%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 16.8%減

<概況>

9月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は72.8(季節調整済指数)で、前月比は3.0%増となった。また、前年同月比(原指数)は16.8%減と、20か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、医療・福祉(前年同月比 25.8%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同 12.4%減)が3か月ぶり、製造業(同 20.2%減)が23か月連続、情報通信業(同 31.6%減)が10か月連続、運輸業・郵便業(同 29.1%減)が11か月連続、卸売業・小売業(同 18.4%減)、その他のサービス業(同 19.0%減)がいずれも6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	88.1	89.9	71.6	55.1	57.9	64.3	70.7	72.8
前月比(%)	▲ 3.0	2.0	▲ 20.4	▲ 23.0	5.1	11.1	10.0	3.0
前年同月比(%)	▲ 6.1	▲ 3.1	▲ 22.3	▲ 38.2	▲ 31.7	▲ 26.6	▲ 22.7	▲ 16.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.2	▲ 7.1	▲ 19.9	▲ 30.6	▲ 24.3	▲ 16.3	▲ 14.7	▲ 12.4

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建設業	113.8	96.1	39.8	2.5	▲ 31.1	27.8	32.5	▲ 12.4
製造業	▲ 11.5	▲ 7.1	▲ 30.1	▲ 54.1	▲ 39.3	▲ 35.0	▲ 33.1	▲ 20.2
情報通信業	▲ 20.9	▲ 20.6	▲ 36.1	▲ 25.8	▲ 23.5	▲ 36.7	▲ 39.1	▲ 31.6
運輸業・郵便業	▲ 9.3	▲ 14.0	▲ 26.9	▲ 25.2	▲ 37.9	▲ 29.2	▲ 30.7	▲ 29.1
卸売業・小売業	▲ 1.3	13.9	▲ 12.5	▲ 25.6	▲ 13.7	▲ 25.6	▲ 15.0	▲ 18.4
医療・福祉	▲ 14.6	▲ 11.9	▲ 1.4	0.0	39.2	11.1	20.9	25.8
その他のサービス業	▲ 7.4	0.0	▲ 10.5	▲ 35.7	▲ 23.2	▲ 20.2	▲ 4.2	▲ 19.0
調査産業計	▲ 6.1	▲ 3.1	▲ 22.3	▲ 38.2	▲ 31.7	▲ 26.6	▲ 22.7	▲ 16.8

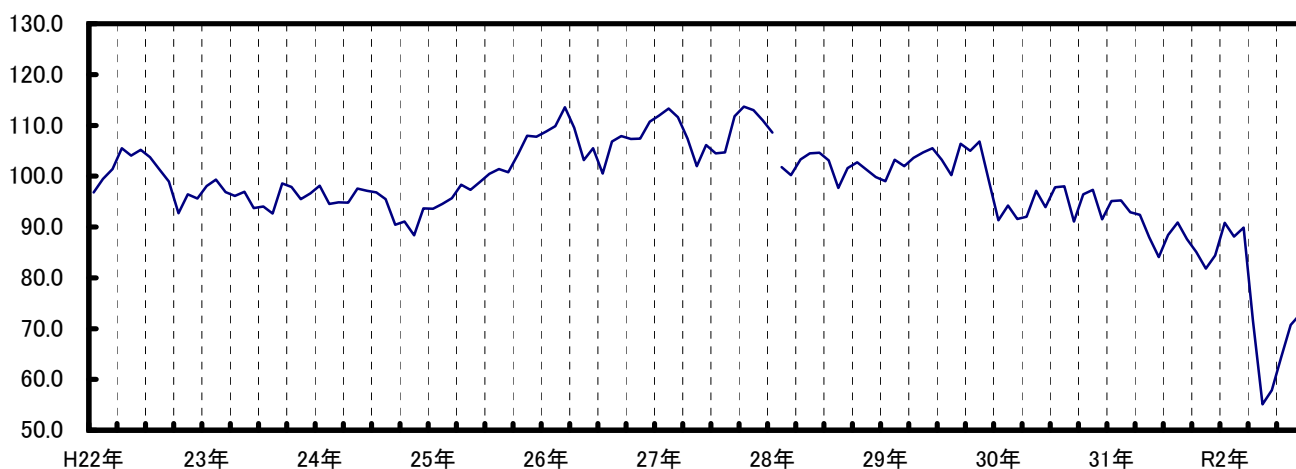
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(平成27年=100)

11月 = 99.9

*前月比: 同水準

*前年同月比: 2.2%下落

<概況>

11月の国内企業物価指数は99.9となり、前月と同水準だった。また、前年同月比は2.2%の下落となった。

<最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国内企業物価指数	99.4	98.9	99.6	100.2	100.3	100.1	99.9	99.9
前月比(%)	▲1.6	▲0.5	0.7	0.6	0.1	▲0.2	▲0.2	0.0
前年同月比(%)	▲2.5	▲2.8	▲1.6	▲0.9	▲0.6	▲0.8	▲2.1	▲2.2

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

10月 = 145,328億円

*前月比: 0.03%増

*前年同月比: 7.7%増

<概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,328億円で、前月比は0.03%の増加となった。また、前年同月比は7.7%の増加となった。

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出残高(億円)	137,249	138,387	142,636	144,316	145,237	145,086	145,276	145,328
前月比(%)	0.4	0.8	3.1	1.2	0.6	▲0.1	0.1	0.0
前年同月比(%)	▲0.8	1.7	5.4	6.1	7.0	7.0	6.7	7.7

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

10月 = 1.660%

*前月差: 0.011ポイント減

*前年同月差: 0.110ポイント減

<概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.660%で、前月から0.011ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.110ポイントのマイナスとなった。

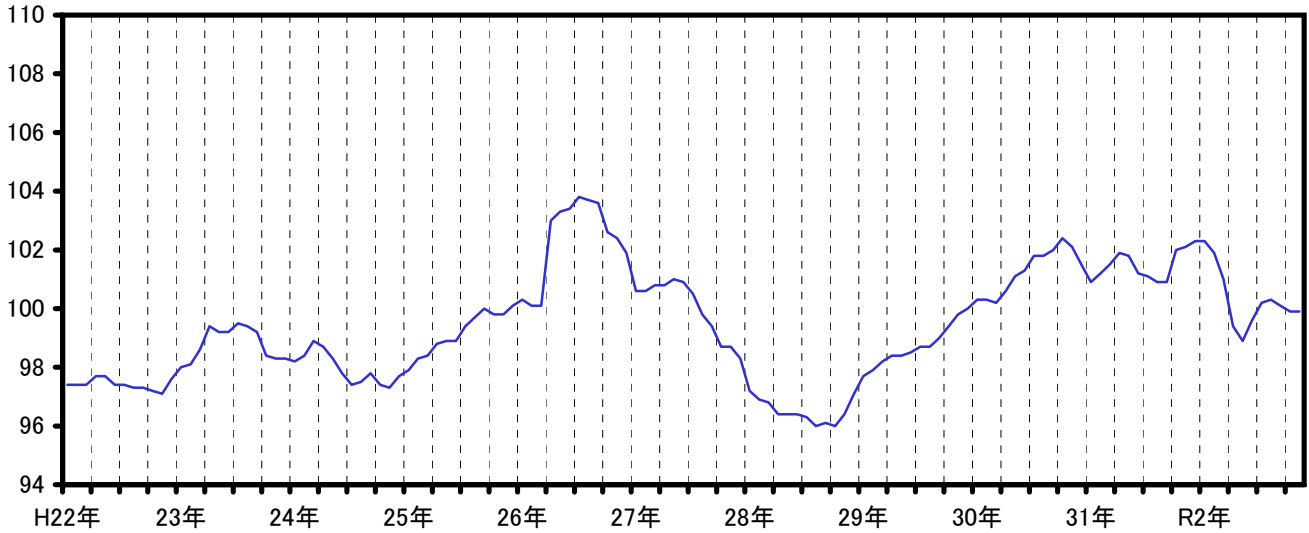
	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出約定金利(%)	1.740	1.723	1.710	1.686	1.686	1.678	1.671	1.660
前月差(ポイント)	▲0.021	▲0.017	▲0.013	▲0.024	0.000	▲0.008	▲0.007	▲0.011
前年同月差(ポイント)	▲0.145	▲0.117	▲0.123	▲0.127	▲0.108	▲0.108	▲0.102	▲0.110

<資料>日本銀行静岡支店

＜過去10年間の推移＞

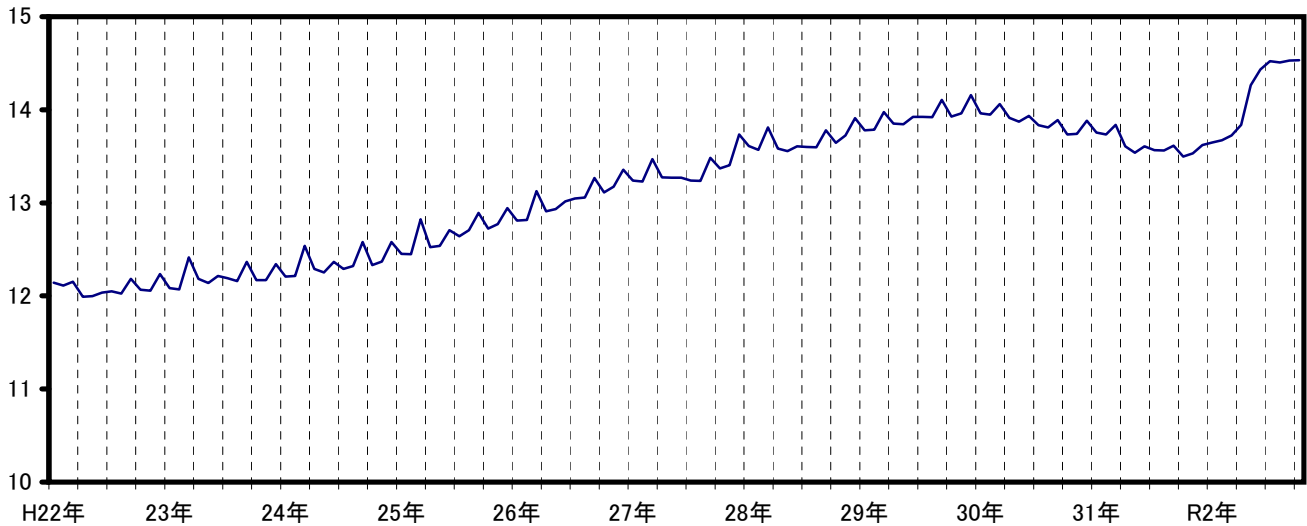
国内企業物価指数(平成27年=100)

＜資料＞日本銀行



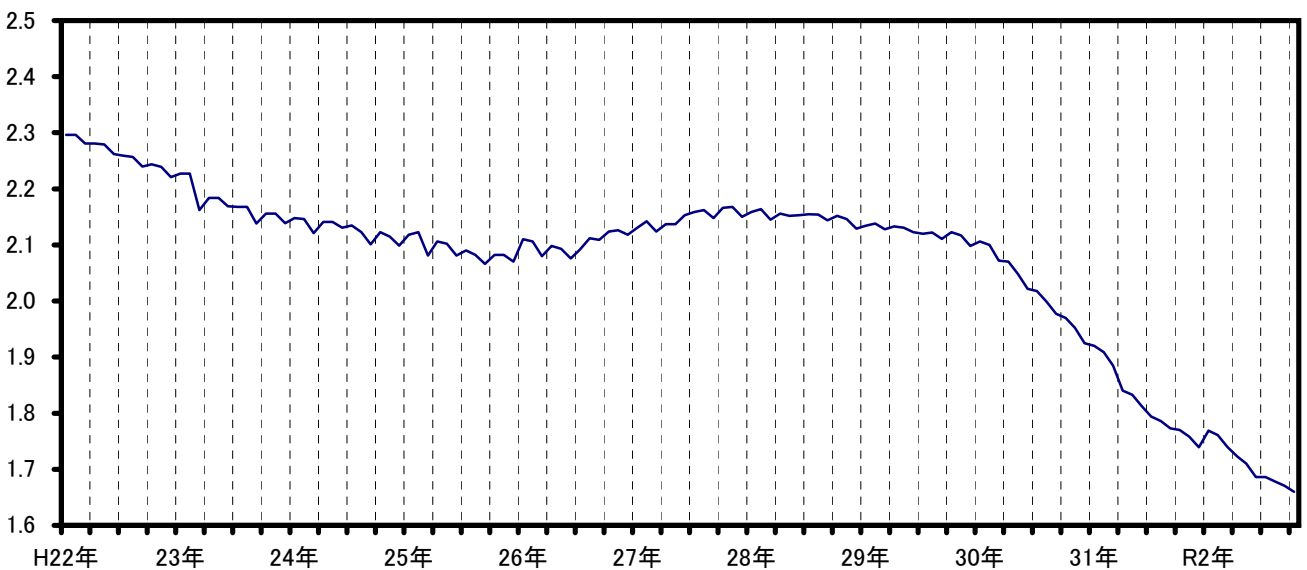
県内金融機関貸出残高(兆円)

＜資料＞日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

＜資料＞日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**10月 = 39,846百万円**

*前年同月比：228.0%増

<概況>

10月の保証承諾は、金額は39,846百万円（前年同月比228.0%増）、件数は3,485件（同193.5%増）と、いずれも8か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
保証金額（百万円）	28,818	132,181	172,545	174,381	144,620	60,088	46,212	39,846
前年同月比（%）	49.6	1,178.7	1,345.9	1,185.2	933.1	408.5	243.4	228.0
保証件数（件）	2,582	6,152	8,566	12,152	10,346	4,791	3,836	3,485
前年同月比（%）	34.0	459.4	609.2	786.5	620.6	296.3	208.0	193.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**11月 = 104.40円/ドル**

*前月差：0.84円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差：4.46円高

<概況>

11月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は104.40円で、前月と比べて0.84円の円高となり、5か月連続で円高となった。

<最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均相場（円）	107.93	107.31	107.56	106.78	106.04	105.74	105.24	104.40
前月差（円）	0.64	▲0.62	0.25	▲0.78	▲0.74	▲0.30	▲0.50	▲0.84
前年同月差（円）	▲3.73	▲2.52	▲0.50	▲1.44	▲0.23	▲1.67	▲2.88	▲4.46

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****11月 = 16件**

*前年同月比：30.4%減

<概況>

11月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は16件（前年同月比30.4%減）、負債総額は1,657百万円（同42.9%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が16件と全体の100.0%を占め、276か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

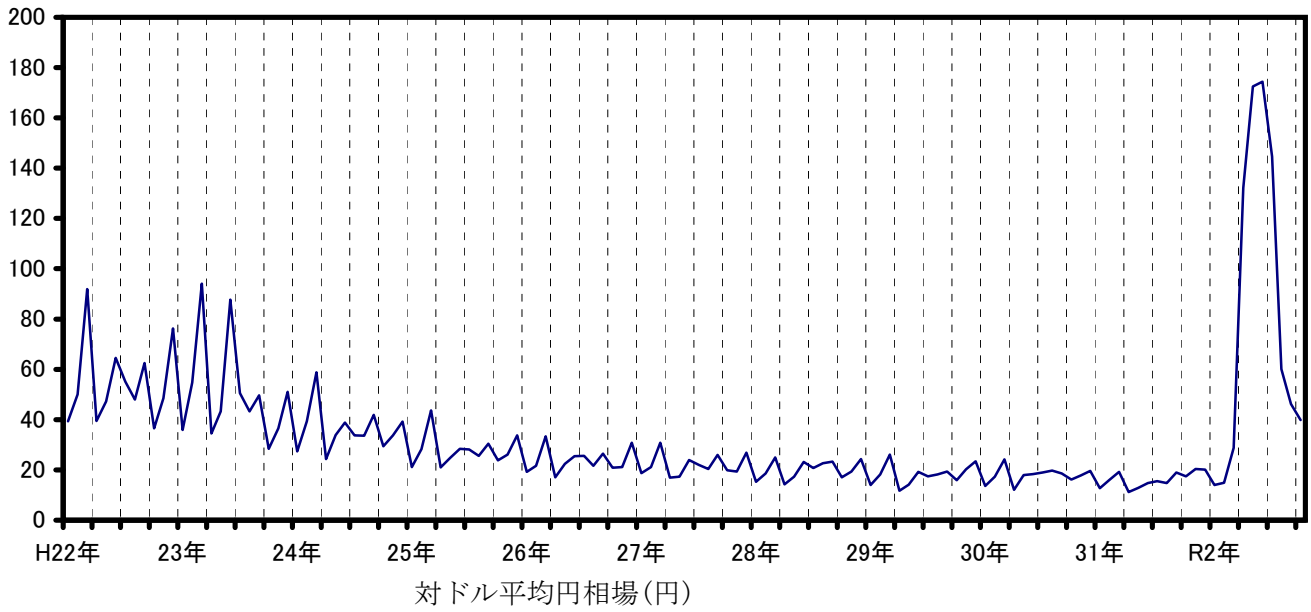
	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
倒産件数（件）	24	11	32	16	14	13	11	16
前年同月比（%）	41.1	▲35.2	128.5	▲44.8	16.6	▲35.0	▲26.6	▲30.4
うち不況型倒産件数（件）	21	9	29	14	13	12	9	16
負債総額（百万円）	7,493	1,669	2,398	1,732	1,907	1,136	809	1,657
前年同月比（%）	191.3	▲9.6	▲24.8	▲55.7	30.7	▲26.3	▲53.0	▲42.9

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

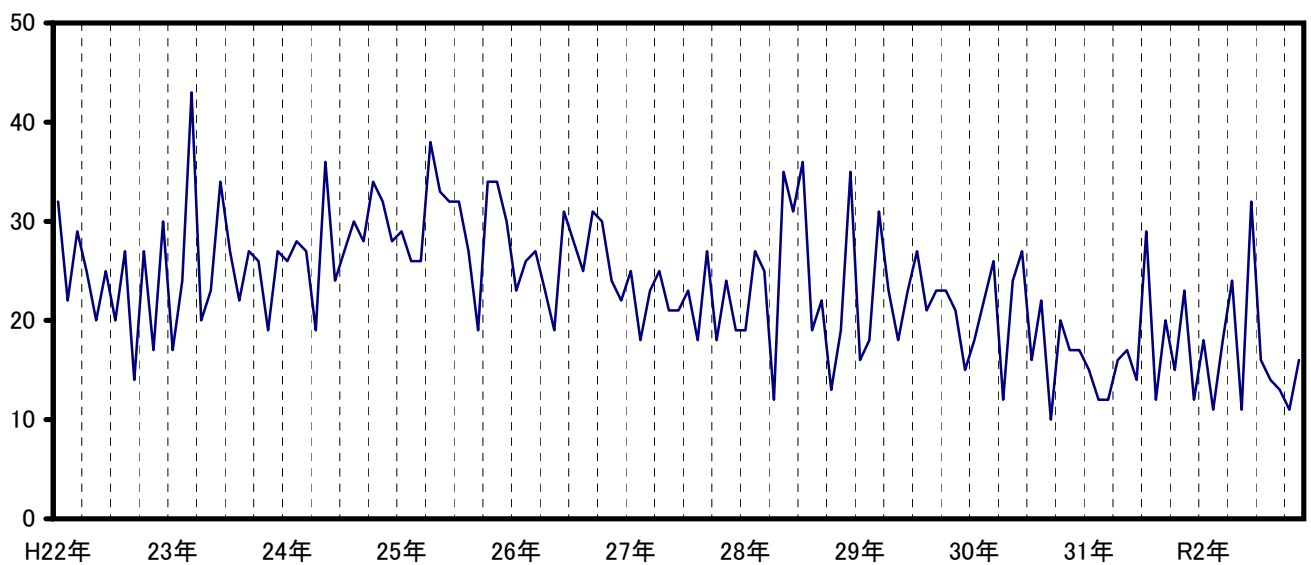
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和2年10月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>9月の国内二輪車生産台数は、41,987台（前年同月比 21.0%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,168台（同 17.1%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,615台（同 32.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,539台（同 37.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、20,665台（同 29.4%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、34,803台（同 8.5%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは、28,412台（同 1.0%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>9月の自動車国内生産台数は、820,708台（前年同月比 1.0%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。輸出は377,953台（同 5.7%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が12か月ぶりに前年実績を上回ったものの、トラックが14か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>10月の冷蔵庫の国内出荷額は349億円（前年同月比 27.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は280千台（同 18.7%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>10月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは379千台（同 16.9%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は64千台（同 10.7%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>10月の携帯電話の国内出荷台数は、969千台（同 16.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、793千台（同 11.0%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は81.8%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>10月の工作機械の受注総額は、822億1,100万円（前年同月比 6.0%減）と、25か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は533億1,900万円（同 1.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。アジア向けが282億8,200万円（同 34.6%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。内需は288億9,200万円（同 13.6%減）と、23か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「親会社の状況が良くない。この先の状況についても良くなる見込みはない。」「自動車関連設備の受注減もあって、赤字覚悟の受注競争が増え始め、更なる窮地に陥る可能性が高い。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>10月の県内楽器メーカーの販売金額は、45億3,793万円（前年同月比2.6%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億486万円（同0.9%減）と、国内向けが19億3,307万円（同4.9%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,349台（同2.9%増）だった。機種別では、アップライトピアノが2,298台（同7.3%増）、グランドピアノ1,051台（同5.6%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,517台（同13.0%増）、国内向けが1,025台（同7.9%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>10月の紙・板紙の国内出荷高は、1,907千トン（前年同月比6.6%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は936千トン（同10.0%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。板紙は970千トン（同3.2%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、496千トン（同12.2%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、159千トン（同4.2%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>10月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,069千箱（前年同月比3.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は670千箱（同2.4%減）と、8か月ぶりに前年実績を下回った。うち、主力であるツナ缶は506千箱（同0.3%減）と、7か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は398千箱（同14.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,253千箱（同4.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>10月の広幅織物の県内生産は、666千㎡（前年同月比51.4%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、603千㎡（同53.6%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、63千㎡（同11.4%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同37.0%減）と、31か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>10月の全国百貨店での家具販売額は、42億3,950万円（前年同月比13.9%増）と、13か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、602億1,651万円（同4.4%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>10月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,902百万円（既存店前年同月比 6.2%増）と、前年同月の実績を上回った。品目別では、家庭用品と食堂・喫茶を除く品目（衣料品、身の回り品、飲食料品、その他の商品）で、前年同月と比較して増加しており、特に身の回り品の増加幅が大きかった。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、10月の売上げは、消費税率引上げ前の前年9月の駆け込み需要に対する反動減があった前年同月と比較して増加した。新型コロナウイルス感染症の影響については、比較的落ち着いていたものの、消費者の外出を控える傾向が続いていたことから、来客数は、前年同月と比較して減少した。</p> <p>中部の総合スーパーへの聞き取りによると、百貨店と同様に、10月の売上げは、駆け込み需要に対する反動減があった前年同月の実績を上回った。特に、気温が低下したことにより、衣料品や家庭用品の売上げが好調であった。また、家で過ごす時間を快適にする商品需要の高まりが継続していた。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、売上げは、前年同月の実績から微減した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、売上げは、内食需要の高まりを受け、好調に推移していたが、10月は、ほぼ平常通りの値となった。一方で、来店回数を抑えて、まとめ買いをする消費者の傾向は継続しており、前年同月の実績と比較して、来客数は減少し、客単価は上昇した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が特に大きかった頃と比べ、10月の景気状況には、落ち着きが見られたものの、依然として、消費者の外出を控える傾向が続いていることによる影響が見られた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>10月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約40万人で、前年同月比26.2%増だった。</p> <p>増加の要因として、台風の影響も少なく天候に恵まれたこと、新型コロナウイルス感染症について本県発表の警戒レベルが9月以降警戒レベル4から警戒レベル3に引き下げられたこと、国の「GO TOトラベルキャンペーン」の対象に東京都を発地とする旅行が加わったこと及び本県の「バイ・シズオカ～今こそ！しずおか!!元気旅!!!」等の需要喚起策が実施されていたこと等が考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約57万台となり、前年同月比15.6%増だった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
完成車生産台数(台)	25,984	20,626	18,471	4,821	12,273	13,856	14,410	21,253	20,918
前年同月比(%)	3.1	▲5.6	▲2.3	▲74.0	▲30.8	▲37.1	▲11.2	▲13.7	▲19.1
KD輸出額(百万円)	1,559	1,524	1,082	32	526	514	506	658	1,307
前年同月比(%)	91.1	91.8	25.4	▲97.2	▲43.5	▲66.3	▲47.2	▲35.5	6.0

<楽器>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産総額(百万円)	2,707	3,166	1,997	1,130	2,128	2,326	1,801	2,341	2,888
前年同月比(%)	▲10.7	0.5	▲39.6	▲64.6	▲32.5	▲35.7	▲32.3	▲22.0	▲12.0

<缶詰>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
食缶生産高(千ケース)	842	1,006	1,173	1,113	1,145	1,062	1,029	1,118	1,069
前年同月比(%)	▲5.5	▲0.2	17.2	25.0	21.0	▲0.8	14.1	19.2	3.2
うち水産缶詰(%)	▲8.3	1.2	18.5	29.1	28.9	3.8	13.5	19.7	▲2.4
農畜産缶詰(%)	0.2	▲2.8	14.4	16.6	6.3	▲9.0	15.3	18.3	14.2
飲料缶生産高(千ケース)	6,002	8,263	7,742	6,986	7,190	8,475	7,336	6,494	6,253
前年同月比(%)	8.1	6.9	▲0.0	▲13.1	▲13.1	1.2	11.5	▲5.9	▲4.9

<繊維>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
広幅織物(千㎡)	1,216	1,164	1,028	755	732	663	577	640	666
前年同月比(%)	▲12.7	▲14.3	▲19.6	▲37.4	▲37.0	▲39.5	▲46.1	▲51.0	▲51.4
小幅織物(千㎡)	24	22	20	17	15	11	13	15	17
前年同月比(%)	▲13.7	▲16.4	▲25.5	▲32.8	▲41.3	▲55.9	▲37.1	▲35.1	▲37.0

<観光>

	R2年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
観光施設(10施設)入込 (千人)	301	345	131	21	234	223	389	342	396
前年同月比(%)	8.2	▲28.2	▲76.5	▲96.7	▲28.6	▲26.6	▲24.2	▲7.9	26.2
有料道路(4路線)通行量 (千台)	556	532	318	315	420	489	687	558	573
前年同月比(%)	8.4	▲13.3	▲55.8	▲58.5	▲36.3	▲32.7	▲22.0	▲21.9	15.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和2年12月号 通巻536号

発行 静岡県経済産業部
令和2年12月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>